

土地改良広報



水土里ネット大阪 は
大阪府土地改良事業団体連合会の
愛称です

大阪市西区新町三丁目6番9号
大阪木材会館3階
大阪府土地改良事業団体連合会
TEL：06-6556-7777
FAX：06-6556-7798
<http://www8.ocn.ne.jp/~daidoren/>

新年を迎えて 若林会長挨拶	2
“闘う土地改良”の先頭に立って 進藤かねひこ挨拶	3
平成27年度 第2回 監事会	5
平成27年度 第2回 理事会	5
農林水産省への提案・要望活動	6
大阪府への提案・要望活動	7
「農業農村整備の集い」に参加	8
第38回 全国土地改良大会（青森大会）	8
平成27年度 日本の経済・農業・林業を語る講演会	10
平成27年度 土地改良区等役職員研修会	10
平成27年度 第2回技術力向上事業研修会	11
平成27年度 第3回技術力向上事業研修会	11
平成27年度 換地業務実務研修	12
多面的機能支払交付金活動事例発表会及び意見交換会	13
2015打込クリーンアップキャンペーン & 防災訓練 IN 光明池	15
久米田池が世界かんがい遺産に登録される	16
平成28年度土地改良の予算について	17
平成27年度 第2回支部事務担当者会議	23
支部協議会だより	23
大阪府からのお知らせ	24
土地改良相談	25
本会員代表者の就任・退任	25
今後の行事予定	25



防災農地 【貝塚市】



「新年を迎えて」

大阪府土地改良事業団体連合会
会長 若林 主治

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご家族お揃いで健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は、大阪府土地改良事業団体連合会の業務並びに運営に、ご理解とご協力、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、政府は12月24日、総額96兆7,218億円の2016年度予算案を閣議決定し、農林水産分野は、2015年度当初より1億円増の2兆3,091億円となりました。土地改良予算は、3,820億円であり、15年度補正予算案に計上した990億円と合算すると4,810億円となり、27年度当初予算より1,222億円の増となりました。

私は、会長に就任以来、国への要望活動に力を入れてまいりました。国の予算案が大幅増額となり一定の成果はございましたが、本当に大阪の土地改良に必要な予算の確保はこれからです。平成28年度当初に大阪府が予算化されます事業費に対しまして、国の割当額がきっちりと確保されますよう、今一度、農林水産省に対しまして大阪府向け予算の確保を強く働きかけたいと思っていますので、会員の皆様のご支援を宜しくお願いします。

府内の土地改良区におかれては、組合員の高齢化や、施設の老朽化による維持管理費の増大など、運営が大変厳しいものがございます。今後も、当連合会は、会員各位の活動が持続できますよう、予算の確保、諸制度のさらなる充実に努めてまいりますので宜しくお願いします。

昨年4月に、全国土地改良事業団体連合会の会長に、二階俊博さんが就任されました。二階会長は、土地改良は農業農村の整備や振興を通じて国土をかたちづくり守っていくのが目的であり、農業農村だけでなく都会の人も含めた国全体が豊かになるために「闘う土地改良」という理念を掲げておられます。

大阪は、中心部は活力ある大都市として、外延部は緑豊かな農空間として、対をなして発展してきました。

私は、大阪の安全で安心な食を守る、いつまでも美味しい農作物ができる農地と水を守る、そして都市と調和したコミュニティ豊かな農空間を守る、そのためには、土地改良事業を通じて地域が協力し合い結びつきを深め、大阪の地域の活性化に繋がっていくのが、一番大切だと持っております。今こそ、会員が思いを一つにして一致協力して頑張る時と持っておりますので宜しくお願いします。

結びに、会員諸団体の、ますますのご隆盛をご祈念申し上げまして新年ご挨拶とさせていただきます。本年も、宜しく願いいたします。



“闘う土地改良”の先頭に立って

全国水土里ネット会長会議
顧問 進藤 かねひこ

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、良き年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

私は、昨春、新しく全国土地改良事業団体連合会会長に就任された二階俊博先生が提唱された「闘う土地改良」に込められた真義に感銘し、また触発され、政治活動の途を志す決意を固め、昭和61年に入省以来、29年間勤めてきた農林水産省を昨年6月、中山間地域振興課長を最後に辞職しました。

その後、7月29日に都道府県土地改良事業団体連合会会長会議（全国水土里ネット会長会議）顧問を仰せつかり、全国各地を回り、その実情を聞かせて頂きました。移動した距離は約30万km、日本の農業水路の総延長約40万km（地球10周分）の4分の3に達しました。全国を巡回する中で、我が国の国土には人間の体でいうと動脈と静脈にあたる農業用水路・排水路が隅々まで張り巡らされ、肉体にあたる450万haの農地と一体になって国民の食料を支えており、多面的機能の適切な発揮を通じて、まさに日本の国土を支えていることを改めて実感した次第です。

そして、様々な課題も聞かせて頂きました。農業・農村の現場で聞く声は本当に切実で、心に響きました。過去・現在・将来とも国民の食料を支える農地と水、それを可能としている土地改良は「日本の命綱」ではありますが、その命綱が切れそうになっていることに強い危機感を禁じ得ません。

全国各地を回り始めてから約4か月経た時点で、私なりに全国の声を集約し、全国水土里ネット会長会議に報告しました。そして、その報告した内容を私に課せられた5つの使命として承り、その使命を果たすため全身全霊で取り組んでまいります。

1. 土地改良の予算確保に全力

○国民の命とくらしは農地と水が健全であってこそ守られているのです。しかしながら、そのために必要な「土地改良」の予算は大幅に不足しており、このままでは日本の農業と地域はその土台から崩れ、日本の未来は危ういものとなります。安全で安心な食料生産のためにも、必要な土地改良の予算確保に全力を尽くします。

2. 日本型直接支払制度の充実に全力

○地下水かん養や洪水防止など農業が有する多面的機能の発揮を支える「多面的機能支払制度」や中山間地域の維持に重要な「中山間地域等直接支払制度」などについて、地域の皆さんの声を丁寧に汲み上げ、制度の充実に全力を尽くします。

3. 災害に強い農山漁村づくりに全力

○近年、自然災害が急増しています。日本の農山漁村には、地すべり地帯や急傾斜地帯が数多くあり、排水ポンプやため池、水路など、その多くの老朽化が進んでおり、これらの対策には一刻の猶予も許されません。迅速かつ的確な対策に全力を尽くします。

4. 自然豊かな美しい農山漁村の継承に全力

○山から海に至る日本の“郷”^{さと}は、歴史と伝統文化に育まれた、まさに日本の宝です。

しかし、それらの多くの宝が今、危機に瀕しています。農地と水、森林の保全を通じ、地方創生の土台である美しい農山漁村を、未来の子どもたちに引き継げるよう全力を尽くします。

5. 農業と農山漁村への国民の理解に全力

○日本が持続的に成長していくためには、農山漁村が食と生活の拠点として健全に発展していくことが必要です。都市農業を含めた国内農業と農山漁村をもっともっと国民に身近なものとし、その振興を図るために、国民の理解が得られるよう全力を尽くします。

この「5つの全力」を通じて、「安全で安心な食」、「大切な農地と水」、「美しい農山漁村」、この3つを守り抜くことを約束します。

大阪府におかれては、都市と調和したコミュニティ豊かな農空間を構築する取り組みを進めておられると承知しております。

私は、大阪の土地改良の活動のより充実を目指し、

- ① ため池・水路等の維持管理を充実し、防災・減災対策を推進
- ② 多面的機能支払制度の充実
- ③ 都市農業の振興施策を推進

に努めてまいります。

先程、「農業水路の4分の3を回った」と申し上げましたが、農業水路は単なる土木構造物でなく、農地を拓き水を引いた先人の辛苦の賜物であり、多くの関係する方々の思いが詰まった地域の文化財的なものでないかと感じています。今後は、農地や農業水路にこもる先人の不屈の魂に思いを馳せながら、更に各地域を毛細血管の部分まで含めて可能な限り訪れたいと思います。そして、貴府の取り組みも十分勉強させて頂きながら、農業・農村の現場と行政・国政の場とのキャッチボールを主導し、自らがそのボールとなって粘り強く両方の「場」を往復できるように、果敢な中にも謙虚に自己を研鑽し、更に幅広く深く政治活動を前に進める覚悟です。

最後に、今年は、土地改良にとって剣ヶ峰と言ってよい程の大きな節目の年となります。私は、幅広い国民の皆さんのご理解と土地改良に関わる私たちの結束を源泉として、「闘う土地改良」の先頭に立って全力疾走することを改めてお誓いします。

本年が皆様お一人おひとりにとって良き年となることを祈念し、私の年頭のご挨拶と致します。

日 時：平成27年11月11日(水) 午前9時30分～

場 所：大阪府土地改良事業団体連合会 会議室

議 案：

第1号議案「平成27年9月30日現在の業務執行状況及び会計経理監査の結果の承認について」

第2号議案「平成27年度一般会計収支補正予算の規約第45条に基づく承認について」

本会規約第25条2項に基づく、平成27年度第2回監事会が当連合会の長野代表監事、長谷川監事、古谷監事出席のもと開催されました。又、大阪府から農政室整備課の中野補佐が立ち会われました。

監事会では、第1号議案に関し、前期の事業、会計経理の執行状況等について、一旦監事会を休会し中間監査の審議に入りました。

質疑の後、事務局から“今後も営業努力を重ね、確実な資金計画をたてるよう取組む。”ことを述べて、原案通り承認されました。

引き続き、第2号議案の平成27年度一般会計収支補正予算の規約第45条に基づく承認についても、事務局の提案通り承認されました。また、11月17日開催の理事会には長野代表監事が出席し報告することになりました。

その他の事項として、事務局より今年度の予算執行見込み等について報告がされました。

日 時：平成27年11月17日(火) 午後3時～

場 所：松原市三宅町土地改良区 2階会議室

議 案：

第1号議案「平成27年9月30日現在の業務執行状況及び会計経理監査の結果報告等について」

第2号議案「平成27年度一般会計収支補正予算の規約第45条に基づく専決処分について」

本会定款第24条に基づく平成27年度第2回理事会が理事本人出席13名、理事本人欠席3名（代理1名出席）のもと開催されました。

又、大阪府から農政室整備課高橋課長、高橋総括主査に出席頂きました。

理事会では、第1号議案の平成27年9月30日現在の業務執行状況及び会計経理監査の結果報告について、事務局説明の後、長野代表監事の監査報告を受け全員異議無しにより承認されました。

引き続き、第2号議案の平成27年度一般会計収支補正予算の規約第45条に基づく専決処分についての審議に入り、事務局説明の後、全員異議無しにより承認されました。

その他事務局より、平成27年度受委託業務の契約状況と予算等の推移、今後の行事予定等について報告をしました。



理事会終了後、松原市三宅町土地改良区の事業取組についての説明を受け、後、現場視察を行いました。

農林水産省への提案・要望活動

実 施 日：平成 27 年 11 月 9 日(月)

提 案 要 請 先：財務省、農林水産省、国会議員

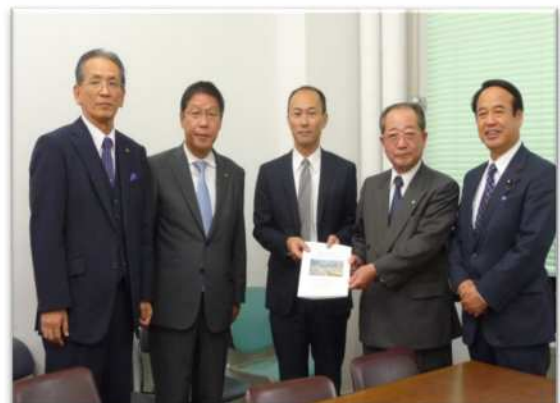
提案要望の要旨：平成 28 年度概算要求にあたり、農業農村整備事業の予算確保について

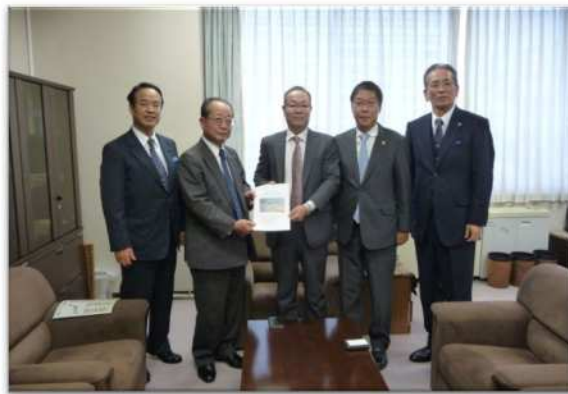
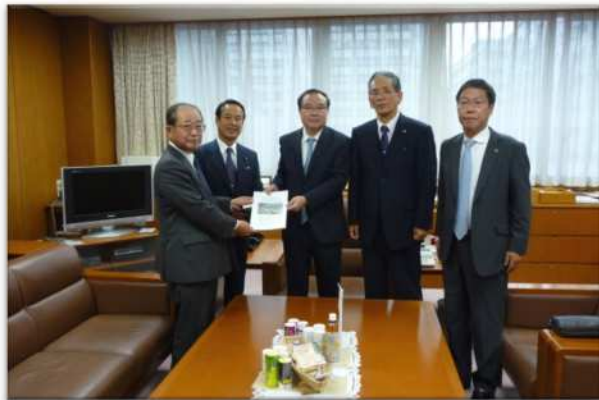
国の平成 28 年度概算要求に際し、神谷衆議院議員の同行により、11 月 9 日に大阪府土地改良事業団体連合会から若林会長、小谷常務理事が上京し、大阪府ため池総合整備推進協議会の信貴会長（岸和田市長）、大阪府農空間整備推進協議会の芝田会長（河内長野市長）、大阪府の南部室長、高橋整備課長も参加して、予算確保や事業支援等の要望活動を行いました。

財務省においては、福田主計局長、高村主計官（農林水産担当）又、農林水産省において、本川事務次官、末松農村振興局長、室本次長、印藤整備部長をはじめ、関係各課長に対し、大阪の現状や課題について述べるとともに、予算の確保の要請を行いました。

要望の内容は、次の通りです。

1. 農業農村整備の予算確保
2. 農業農村整備事業の定額補助の継続





大阪府への提案・要望活動

実 施 日：平成 27 年 10 月 30 日(金) 午前 10 時～

提 案 要 請 先：大阪府環境農林水産部

提案要望の要旨；平成 28 年度事業実施に関する要望

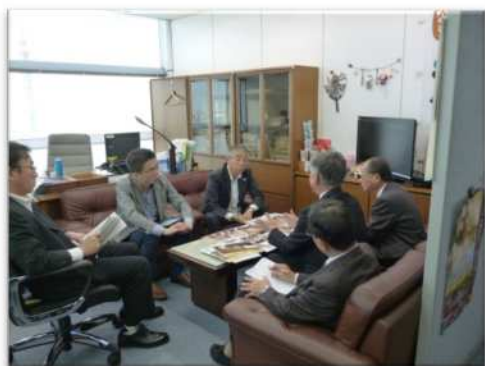


大阪府の平成 28 年度当初予算編成に際し、若林会長、小谷常務理事が、石川大阪府環境農林水産部長に対し、南部農政室長、高橋整備課長同席のもと、農空間整備事業予算について、予算の増額や事業支援等の要望を行いました。

石川部長から、「連合会と連携して予算の確保について、努力してまいりたい」とのコメントをいただきました。

農空間整備事業予算の確保など、要望内容は次の 5 点です。

1. 農空間整備事業予算の確保
2. 基幹水利施設の計画的な補修・更新
3. 多面的機能支払交付金の予算確保
4. 農業水利施設の緊急診断及び緊急補修にかかる予算の確保



「農業農村整備の集い」に参加



平成 27 年 11 月 27 日（金）に、平成 28 年度予算編成時期を迎え、全国の土地改良関係者が一堂に集い、国会議員、農林水産省、財務省などに対し、予算確保の要請を行う「農業農村整備の集い」が、シェンバハ・サボーにおいて、全国から多くの関係者が参加し、開催されました。

府土連からは、若林会長、小谷常務理事、土地改良区理事長ら総勢 13 名が参加しました。

二階全土連会長の挨拶の後、森山農林水産大臣、稲田政務調査会長が祝辞を述べられ、農林水産省農村

振興局長による情勢報告、京都大学大学院浅野教授による基調報告、全国水土里ネット会長会議進藤顧問による緊急報告がなされた後、平成 28 年度当初予算「安定的・計画的な事業執行のために必要な規模の予算確保を求める」要請書が採択されました。

終了後、府土連単独で、関係国会議員に対し予算確保の要望活動を行いました。



第 38 回 全国土地改良大会（青森大会）

「土地改良の路繋ぎ 明日への確かな途拓く」

日垣理事長 農林水産省農村振興局長表彰受賞

中野理事長 全国土地改良事業団体連合会長表彰受賞



平成 27 年 10 月 15 日、第 38 回全国土地改良大会が青森県の新青森県総合運動公園「マエダアリーナ」に於いて、全国土地改良事業団体連合会と青森県土地改良事業団体連合会主催により全国から土地改良関係者が約 3,000 名集まり、盛大に開催されました。大阪府土連からは、2 泊 3 日の行程で 77 名が参加しました。



式典では開会宣言、国歌斉唱の後、開催県を代表し青森県土地改良事業団体連合会の野上会長の挨拶に続き、主催者を代表し全国土地改良事業団体連合会の二階俊博会長の挨拶、青森県知事の挨拶後、土地改良事業功績者表彰が行われ、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰45名の受賞者が紹介されました。

大阪府からは、枚方市御殿山土地改良区日垣光男理事長が農林水産省農村振興局長表彰、泉南市土地改良区中野吉次理事長が全国土地改良事業団体連合会会長表彰を受賞されました。

功績者表彰式の後、室本農村振興局次長の基調講演、三村青森県知事の基調講演に続き、岩手県、宮城県、福島県の各土地改良事業団体連合会から基調報告として、東日本大震災地域での復興・復旧状況報告があり、又地元青森県からは、北三沢土地改良区、鬼沢楯木土地改良区から、県内土地改良事業優良事例地区の事例発表がありました。

最後に「土地改良の路繋ぎ 明日への確かな途拓く」に思いを馳せ、魅力ある農業農村の明るい未来を確かなものにしていくため、農業農村の礎である「水・土・里」を健全な姿で次世代に引き継ぐことの大会宣言が行われ、次期開催地石川県を紹介、大会旗引継後、閉会挨拶を行い盛会裡に幕を閉じました。



枚方市御殿山土地改良区
理事長 日垣 光男様



泉南市土地改良区
理事長 中野 吉次様

平成27年度 日本の経済・農業・林業を語る講演会



日本の農業振興は、世界の経済と強く結びついており、国際協調を考える中で、大阪の農業、そして土地改良のあり方を考えることを目的に、有識者を招いて平成27年度日本の経済・農業・林業を語る講演会を、大阪府木材連合会と共催で、8月29日（土）午後3時から「リーガロイヤルホテル」において、盛大に開催しました。

若林会長の挨拶の後、二階俊博衆議院議員（全国土地改良事業団体連合会会長）に、日本の経済・農業・林業を語ると題してご講演をいただきました。

講演会には、近藤近畿農政局次長、青木近畿中国森林管理局長、竹内大阪府副知事、田中八尾市長（大阪府市長会会長）をはじめ、多くの市町村長、国、府などの行政関係者、府内農業団体、土地改良区、木材連合会の関係者など大阪の農業・木材産業関係者230名が参加しました。

講演の後、ホテル内で懇親会を開催し、大阪の農業・土地改良・木材産業の今後について、意見交換を行いました。



平成27年度 土地改良区等役職員研修会



土地改良区の役職員の皆さんに共通する改良区運営上の諸問題について、理解を深めて頂き、土地改良区の運営が円滑に推進することを目的に、平成27年度土地改良区等役職員研修会を、7月8日（水）午後2時から「ホテル大阪ベイタワー4階 ベイタワーホール」において、170名の参加のもと盛大に開催しました。

若林会長、大阪府環境農林水産部の南部農政室長の挨拶の後、近畿農政局農村計画部土地改良管理課 三谷光紹課長補佐による「土地改良区を取り巻く情勢について」と題して、とくに、土地改良区等に関する不祥事の未然防止について講演をいただきました。

続いて、大阪府府民文化部人権擁護課の森井康之総括主査による「人権問題について」と題し、人権の大切さを再認識させる内容の講演をいただきました。





続いて、大阪府府環境農林水産部農政室整備課向井課長補佐から、「ため池の防災・減災対策について」、エネルギー施策課の近藤総括主査から「農空間を活用した再生可能エネルギーの導入について」と題して講演をいただきました。

最後に、大阪府農空間保全地域協議会の佐谷さんが多面的機能支払い交付金の推進について報告をしました。



平成27年度 第2回技術力向上事業研修会



平成27年度第2回技術力向上事業研修会は、CAD技術研修として、平成27年10月19日(水)に、近畿農政局土地改良技術事務所1階会議室において、延10名の参加のもと開催しました。昨年度の研修会でもCAD研修が好評であり、会員から要望が多かったことから昨年度に引き続き本年度も開催する運びとなりました。

今回のCAD研修の開催にあたり研修会の企画、会場、講師について、近畿農政局土地改良技術事務所に格別なご協力をいただきました。

平成27年度 第3回技術力向上事業研修会



平成27年度第3回技術力向上事業研修会を11月26日(木)午後1時30分から大阪木材会館6階会議室において、93名参加のもと開催しました。

小谷常務理事挨拶のあと、話題提供(平成28年度概算要求)と題し、近畿農政局農村振興部設計課石島課長から説明をいただきました。

引き続き、「マイナンバー制度」と題し、小川公認会計士から説明をいただきました。

次に、「パイプラインの漏水調査を含む診断・技術のご案内」と題し、積水化学工業株式会社から、「取水用ゲートの現状と将来展望」と題して、丸島産業株式会社、株式会社堀内機械、株式会社ユーテックから説明をいただきました。

いずれの説明も、今後の土地改良区を運営・管理する上で、貴重な講演となりました。



平成27年度 換地業務実務研修

平成27年11月4日(水)・5日(木)の両日、大阪木材会館6階会議室において「平成27年度換地業務実務研修」を、府職員、市町村職員、土地改良区等役職員等の換地技術者を対象に22名の参加のもと開催しました。

研修1日目は、大阪法務局不動産登記部門 酒井登記官による「相続登記について」、全国土地改良事業団体連合会中央換地センター 浦山参与による「一時利用地の指定について・換地を取り巻く情勢について」の講義を、2日目は大阪府環境農林水産部農政室推進課 原田参事による「都市農業を支える多様な担い手の育成に向けて」、同じく推進課 稲田主査による「農地中間管理事業とは…その制度と仕組み」、(一財)大阪府みどり公社 笠原事務局次長による「農地中間管理事業の取組状況」についてそれぞれ講義をいただきました。

換地業務は、農地集団化から農地集積へと新たな展開を迎え、換地技術者の更なる知識向上、並びに後継者の育成に向け、益々技術の研鑽が求められています。今回の研修のテーマは今後の換地業務を進める上で、大変貴重な講義となりました。研修会終了後、全ての講義を受講された方々に終了証書が授与されました。



多面的機能支払交付金活動事例発表会及び意見交換会

多面的機能支払交付金を活用して農空間を守る活動を進めている地域団体が集まって事例発表と意見交換を行う会が、市町村とＪＡ大阪中央会及び当連合会で構成する「大阪府農空間保全地域協議会（当会常務理事が会長）」が主催して、各地域で開催されました。

「第１回多面的機能支払交付金活動事例発表会及び意見交換会」



第１回目は、南河内地域の団体が集まり、８月２１日（金）午後１時３０分から松原商工会議所５階会議室で、開催され、土地改良区・団体関係者、市町村担当者など、約１００名が参加されました。

当会小谷常務理事の挨拶で始まり、澤井松原市長様に来賓挨拶をいただいた後、近畿農政局淀川水系土地改良調査管理事務所の野原所長様に、「多面的機能支払交付金の法制化について」と題して、ご講演いただきました。続いて、三宅地区農空間保全地域協議会の井藤様、松本様、林様から活動事例報告をいただきました。休憩の後、南河内地域４団体の代表から、活動事例紹介をしていただき、三宅地区代表、大阪府ご担当者も交えて、活発な意見交換を行いました。最後に、三宅地区農空間保全地域協議会の仲川代表から閉会の挨拶をいただきました。



「第２回多面的機能支払交付金活動事例発表会及び意見交換会」



第２回目は、泉南地域の団体が集まり、１０月３０日（金）午後２時３０分から貝塚市民文化会館（コスモシアター）中ホールで開催され、土地改良区・団体関係者、市町村担当者など、約９０名が参加されました。

当会小谷常務理事の挨拶で始まり、波多野貝塚副市長様に来賓挨拶をいただいた後、近畿農政局農地整備課の崎山係長様に、「多面的機能支払交付金に関する概要について」と題して、ご講演いただきました。続いて、木積地区農空間保全地域協議会の松浪様、神於山地区農空間保全協議会の西村様から活動事例報告をいただきました。休憩の後、泉南地域９団体の代表から活動事例紹介をしていただき、活発な意見交換を行いました。最後に、木積地区農空間保全地域協議会の佃会長から閉会の挨拶をいただきました。



「第3回多面的機能支払交付金活動事例発表会及び意見交換会」



第3回目は、泉北地域の団体が集まり、11月4日(水)午後2時から和泉市コミュニティセンター1階大集会室で開催され、土地改良区・団体関係者、市町村担当者など、約70名が参加されました。

当会若林会長の挨拶で始まり、辻和泉市長に来賓挨拶をいただいた後、近畿農政局農地整備課の佐藤室長様に「多面的機能支払交付金に関する概要について」と題して、ご講演をいただきました。続いて陶の里水系農空間保全協議会の東様から活動事例報告をいただきました。休憩後、泉北地域11団体の代表から活動事例紹介をしていただき、活発な意見交換を行いました。最後に、横山地区農空間保全地域協議会の飯坂会長から閉会の挨拶をいただきました。



2015 オアシス・クリーンアップ・キャンペーン & 防災訓練 IN 光明池



「オアシス構想」推進の一環として、「ため池をきれいにして都市のオアシスにしよう」を合い言葉に、大阪府ため池総合整備推進協議会の主催（大阪府、大阪府土地改良事業団体連合会後援）により、毎年11月に府内全域でオアシス・クリーンアップ・キャンペーンが実施されております。

今年は、11月21日(日)に和泉市の「光明池」において、当連合会の会長で、光明池土地改良区理事長でもある若林会長をはじめ、大阪府ため池総合整備推進協議会会長信貴岸和田市長、開催市の辻和泉市長、来賓として石川大阪府環境農林水産部長等が出席して、盛大に開催されました。

式典では、ため池周辺の清掃活動に取り組みられています地元関係団体の方々に又、府内でため池保全活動に取り組みられています団体の方々に、大阪府知事及び、ため池総合整備推進協議会長から感謝状が贈呈されました。

式典終了後、ため池の清掃活動の他、消防自動車による放水訓練や災害時にため池の水を活用した飲料水の確保又、ため池の水を使った自衛隊のヘリコプターによる消火訓練や炊き出し等が実施されました。





久米田池が世界かんがい遺産に登録される



岸和田市にあります府内最大の水面積を誇る久米田池が、10月13日（火）に、国際かんがい排水委員会（ICID）が歴史的・社会的価値のあるかんがい施設の保全を目的に創設した、世界かんがい施設遺産に登録されました。府内では、狭山池（大阪狭山市）に続くものです。

久米田池は岸和田市久米田池土地改良区が管理する広さ45.6ha、貯水量157万トンのため池

で、28haの水田に用水を供給しています。奈良時代に僧行基らが14年をかけて築造したといわれ、用水の確保はもとより、遊歩道をもうけて地域住民の憩いの場として親しまれています。

12月20日（日）に、岸和田市内で土地改良区主催による記念祝賀会が開催され、当会からは、若林会長、小谷常務理事、佃理事（当会泉南支部長）をはじめ、関係土地改良区理事長が出席、若林会長が祝辞を述べました。



平成28年度土地改良の予算について

12月18日（金）に閣議決定された国の2015年度補正予算案における土地改良予算990億円、12月24日（木）に閣議決定された2016年度当初予算案における土地改良予算3,820億円、総額4,810億円の内訳は、次の通りです。

土地改良の予算について (平成27年度補正予算・平成28年度当初予算)

1. 27年度補正予算（990億円）

【ポイント】

- ・26年度補正予算（193億円）の5倍を確保
- ・TPP対策は来年度以降も継続の見込み

【予算の概要】

○TPP対策	940億円	
・大区画化・汎用化		370億円
・平場・中山間地域の水田、畑地、樹園地の整備		406億円
・草地整備		164億円
○防災・減災対策	50億円	
農業水利施設の洪水被害防止対策・耐震対策		

2. 28年度当初予算（3,820億円）

【ポイント】

- ・総額232億円（うち公共予算210億円）増額
- ・公共予算は27年度当初予算増額分（64億円）の3倍を確保
- ・補正予算と合わせて27年度当初予算より1,222億円増

【予算の概要】

○農業農村整備事業	2,962億円（210億円増）
・農村地域防災減災事業	508億円（228億円増）
・農業競争力強化基盤整備事業	365億円（24億円増）
・農業水利施設保全合理化事業	69億円（24億円増）
○農山漁村地域整備交付金	735億円（前年同額）
○農地耕作条件改善事業	123億円（23億円増）

○27年度補正予算

TPP 対策 940 億円

(太枠は補助事業)

事業名	予算額 (億円)	・補助率 ・実施主体	事業概要
農業競争力強化 基盤整備事業	565	・1/2 等 ・都道府県等	○ 農地の大区画化や排水対策により、農地集積・集約化や農業の高付加価値等を推進 【主な内容】 区画整理、暗渠排水、農業用排水施設等
農業水利施設 保全合理化事業	15	・定額、1/2 等 ・都道府県等	○ 水利用の効率化・水管理の省力化、農業水利施設の長寿命化を推進 【主な内容】 農業水利施設の整備等
国営かんがい 排水事業	83	・4/5 ・国	○ 北海道で行う家畜ふん尿を活用した肥培かんがい施設の整備 【主な内容】 肥培かんがい施設、排水施設
国営農地再編 整備事業	230	・2/3 ・国	○ 大区画化や排水改良を行い、農地集積・集約化や耕作放棄地の発生防止・解消を推進 【主な内容】 農地の区画拡大や暗渠排水等
国営総合農地 防災事業	47	・3/4 ・国	○ 北海道で行う泥炭地域における草地の排水改良等 【主な内容】 整地、暗渠排水、排水施設等

防災・減災対策 50 億円

(太枠は補助事業)

事業名	予算額 (億円)	・補助率 ・実施主体	事業概要
農村地域防災 減災事業	40	・定額、1/2 等 ・都道府県、市町村、土地改良区等	○ 地震や豪雨等による災害を防止し、地域の防災力向上を図るための防災・減災対策を実施 【主な内容】 ため池や排水機場等の整備
国営かんがい 排水事業	7	・2/3 ・国	○ 水利条件を整備し、農業用水の確保・安定供給と農地の排水改良を推進 【主な内容】 農業水利施設の整備・更新
国営総合農地 防災事業	3	・2/3 ・国	○ 農業用排水施設等を整備し、施設の機能回復や災害の未然防止を推進 【主な内容】 排水施設等の整備

○28 年度当初予算（主要な事業を抜粋）

（太枠は補助事業）

事業名	予算額 (億円)	・補助率 ・実施主体	事業概要
農業競争力強化 基盤整備事業	365	・ 1/2 等 ・ 都道府県等	○ 農地の大区画化や排水対策により、農地集積・集約化や農業の高付加価値等を推進 【主な内容】 区画整理、暗渠排水、農業用排水施設等
農業基盤整備 促進事業	61	・ 定額、1/2 等 ・ 都道府県、市町村、土地改良区、農地中間管理機構等	○ 畦畔除去等による区画拡大や暗渠排水等の農地の整備、老朽化した農業水利施設等の整備を地域の実情に応じて実施 【主な内容】 簡易な区画拡大、暗渠排水、客土、除礫等
農業水利施設 保全合理化事業	69	・ 定額、1/2 等 ・ 都道府県等	○ 水利用の効率化・水管理の省力化、農業水利施設の長寿命化を推進 【主な内容】 農業水利施設の整備等
農村地域防災 減災事業	508	・ 定額、1/2 等 ・ 都道府県、市町村、土地改良区等	○ 地震や豪雨等による災害を防止し、地域の防災力向上を図るための防災・減災対策を実施 【主な内容】 ため池や排水機場等の整備やハザードマップの作成等
国営かんがい 排水事業	1,179	・ 2/3 ・ 国	○ 水利条件を整備し、農業用水の確保・安定供給と農地の排水改良を推進 【主な内容】 農業水利施設の整備・更新
国営農地再編 整備事業	176	・ 2/3 ・ 国	○ 大区画化や排水改良を行い、農地集積・集約化や耕作放棄地の発生防止・解消を推進 【主な内容】 農地の区画拡大や暗渠排水等
国営総合農地 防災事業	262	・ 2/3 ・ 国	○ 農業用排水施設等を整備し、施設の機能回復や災害の未然防止を推進 【主な内容】 ダム、頭首工、排水機場等の整備

TPP対策における土地改良事業

- 総合的なTPP関連政策大綱に、「農地中間管理事業の重点実施区域等における農地の更なる大区画化・汎用化」、「水田の畑地化、畑地・樹園地の高機能化」及び「畜産クラスター事業を後押しする草地の大区画化」が盛り込まれたところ。
- 攻めの農林水産業への転換を図るため、農業の体質強化に資する事業を重点的に実施。

農地中間管理事業の重点実施区域等における農地の更なる大区画化・汎用化

担い手の米の生産コストを大幅に削減するため、農地の大区画化や排水対策、水管理の省力化・合理化のための整備を推進

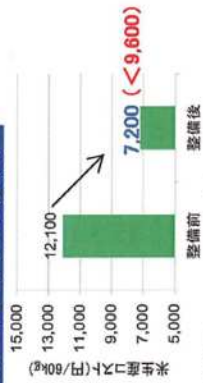
○大型機械の導入が可能なる大区画のほ場を整備



○水管理の省力化・合理化を可能とするパイプライン化、地下かんがいを整備



米の生産コストの低減



※ 対象地区：H22～24年度完了地区
 ※ 「日本再興戦略」上の担い手の米生産コスト削減目標
 16,000円/60kg (23年産米全国平均) → 9,600円/60kg

水田の畑地化 畑地・樹園地の高機能化

高収益作物を中心とした営農体系への転換により、体質強化を図るため、水田の畑地化・汎用化、畑地・樹園地の高機能化を推進

○水田の畑地化の例



○畑地・樹園地の高機能化の例

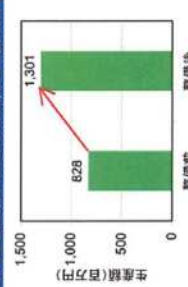


営農経費の低減



(県営地区の調査結果から試算)

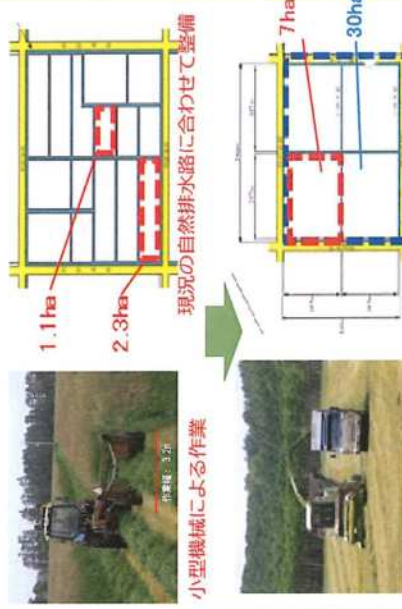
生産額(ぶどう、茶等)の増加



(園営地区の計画書から試算)

畜産クラスターを後押しする 草地整備の推進

地域ぐるみの高収益畜産体制（畜産クラスター）の取組みを加速化し、効率的な飼料生産を一層進めるため、大型機械化体系に対応した草地の大区画化等の基盤整備を推進



大型機械による作業

◆飼料作物の単位面積当たりの収量(採葉面)



4

※TDNとは、飼料作物中に含まれる栄養価のこと。

草地の大区画化による作業効率の向上の結果、大型機械により生育適期の収穫が可能となり、飼料作物の単位面積あたり収量が増加し、畜産農家の体質強化に寄与。

土地改良事業（主要な補助事業）の概要

農業競争力強化基盤整備事業

- 農地の大区画化



人・農地プランに位置づけられた中心経営体への農地集積率に応じて、促進費の交付が受けられます（事業費の最大12.5%）

農業基盤整備促進事業

- 畦畔除去による区画拡大



自力施工等の簡易整備に対して定額助成します（畦畔除去による区画拡大：10万円/10a、暗渠排水：15万円/10a 等）

農業水利施設保全合理化事業

- 水管理の省力化、水利施設の長寿命化



老朽化した開水路



自動給水栓

水路のハイライン化

末端水利施設まで一体的な合理化・保全整備が可能です。（受益面積20ha以上、機能保全計画策定の定額補助 等）

農村地域防災減災事業

- ため池の整備



- 排水機場の整備



小学校

幹線道



ため池ハザードマップ作成などのソフト対策に対しては、定額で助成します（平成30年度まで）

平成28年度 土地改良事業関係予算案（28当初及び27補正）

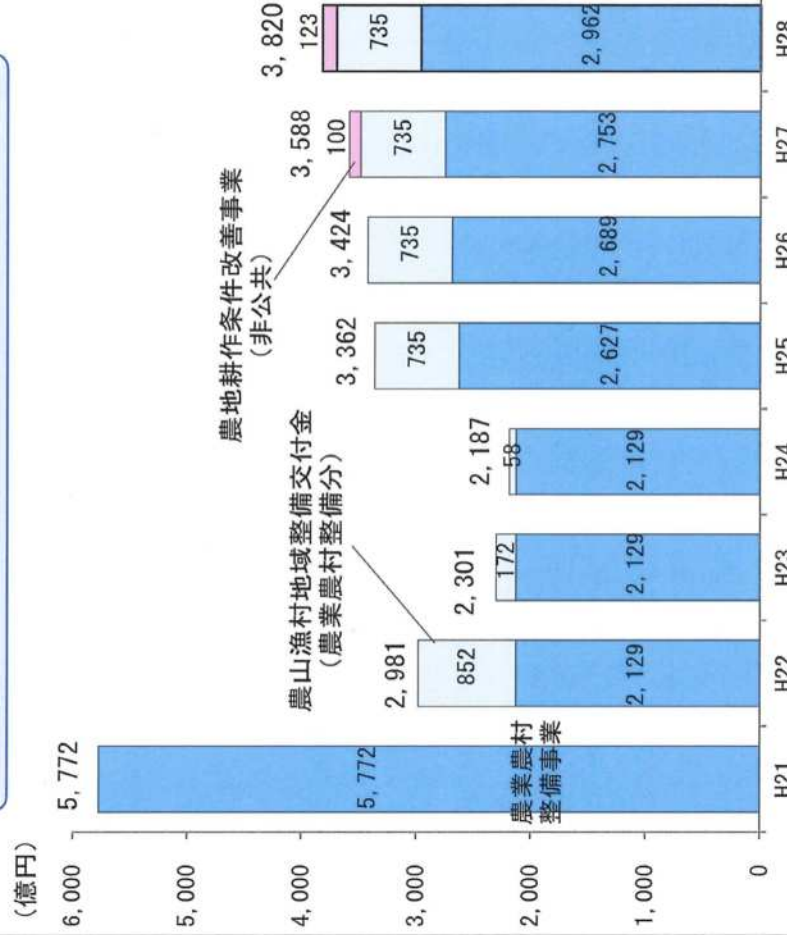
- 平成28年度当初予算においては、農山漁村地域整備交付金の農業農村整備分及び非公共事業である農地耕作条件改善事業と合わせて、対前年度比106.5%の3,820億円の3,820億円を計上。
- 平成27年度補正予算においては990億円を計上。

平成28年度予算
(28当初概算決定及び27補正予算)

	H27 予算額	H28 概算決定額 A	(27年度補正追加額)		A + B
			H27 補正額 B		
農業農村整備事業	2,753	2,962 (107.6%)	990		3,952
農山漁村地域 整備交付金 (農業農村整備分)	735	735 (100.0%)	—		735
小計	3,488	3,697	990		4,687
農地耕作条件改善事業 【非公共】	100	123 (122.7%)	—		123
計	3,588	3,820 (106.5%)	990		4,810 (134.1%)

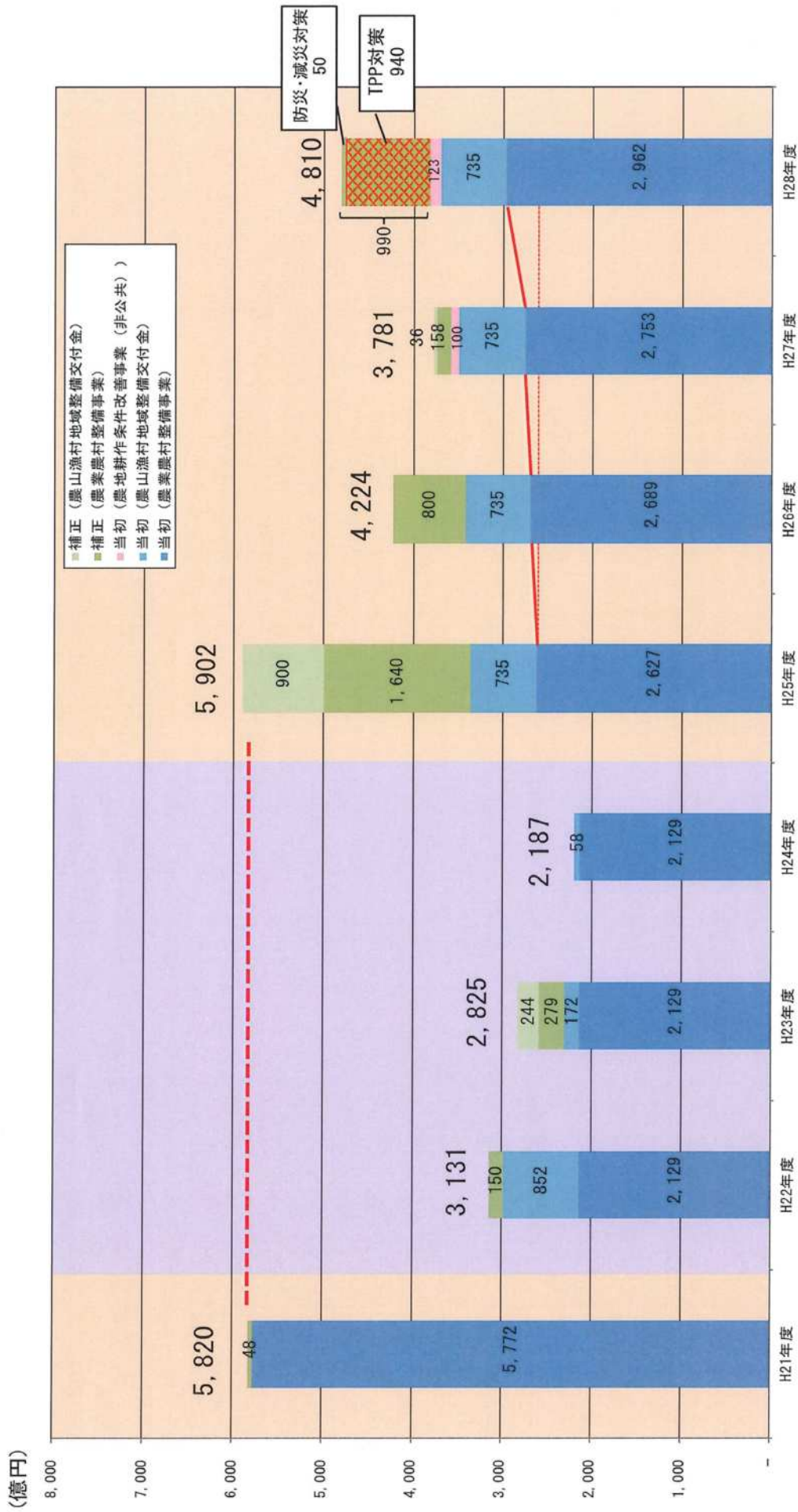
〔下段() 書きは27年度予算額との比率〕

土地改良事業関係予算（当初）の推移



注： 計数は四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないことがある。

土地改良事業関係予算の推移（当初及び補正予算）



※補正予算については、翌年度予算に計上している。
 ※計数は四捨五入によるもので、端数において合計とは一致しないものがある。
 ※農山漁村地域整備交付金は、農業農村整備分を計上している。

平成27年度 第2回 支部事務担当者会議

日 時：平成27年11月25日(水) 午後3時30分～

場 所：大阪府土地改良事業団体連合会 会議室

議 題

- (1) 表彰者の推進について
 - ・大阪府知事感謝状
 - ・第55回大阪府土地改良功労者表彰
- (2) 第38回全国土地改良大会（青森大会）の精算について
- (3) 平成27年度支部予算措置のお願いについて
- (4) 農空間保全活動支援事業について
- (5) 今後の行事の予定について
- (6) その他

平成27年度第2回支部事務担当者会議が、8支部の事務担当者が出席して開催されました。会議では、本会梅村事務局長が挨拶の後、表彰者の推薦、第38回全国土地改良大会の精算等について説明、つづいて今後の行事予定並びに研修会等の案内と併せて多数参加に向けての協力の依頼を行いました。

支部協議会だより

三島支部

平成27年9月26日(水) 午後1時30分から、神安土地改良区会議室において「平成27年度第1回三島支部協議会」が開催されました。

会員総数17会員中10会員（委任状7会員）が出席して開催されました。

- (議 事) 議案第1号 平成26年度収支決算書の承認について
議案第2号 平成26年度事業報告書の承認について

平成27年11月19日(木) から20日(金) に、平成27年度支部管外視察研修を目的として、長野県松川町、豊丘村、喬木村、飯田市の小渋川土地改良区の施設運用と現地視察が開催されました。

この研修には、本会の小谷常務理事が参加しました。

中河内支部

平成28年1月22日(金)に支部協議会及び現地研修が予定されており、研修先は、和泉市光明池が予定地となっております。

この研修会には、本会の小谷常務理事が参加予定です。

南河内支部

平成27年12月4日(金) に南河内支部研修会が視察研修を目的として、河内長野市「南河内くろまるの里」、光明池土地改良区「光明池」、神於山土地改良区「太陽光発電」、府営広域農道「岩湧地区」の現地視察が開催されました。

この研修には、本会の小谷常務理事が参加しました。

泉北支部

平成 27 年 11 月 10 日(火) 泉北支部研修会が視察研修を目的として、河内長野市「南河内くろまろの里」、府営広域農道「岩湧地区」、河南町「太陽光発電」の現地視察が開催されました。

この研修には、本会の小谷常務理事が参加しました。

泉南支部

平成 27 年 11 月 12 日(木)に視察研修を目的として、兵庫県三木市「東播用水土地改良区」、兵庫県神戸市「兵庫楽農生活センター」、兵庫県三木市「山田錦の里」の現地視察が開催されました。

この研修には、本会の小谷常務理事が参加しました。

大阪府からのお知らせ

土地改良法に基づく大阪府知事の認可が必要な手続きについて

大阪府環境農林水産部農政室から土地改良法に基づく大阪府知事の認可が必要な定款の変更等の手続きについて、別紙のとおり指導がありました。

別 紙

大阪府知事の認可を必要とする手続きについて、土地改良区の総会・総代会の議決をもって施行している例が見受けられます。

結果、議決内容が認可要件を満たさない場合は、改めて総会・総代会を開催し議案を諮ることになります。

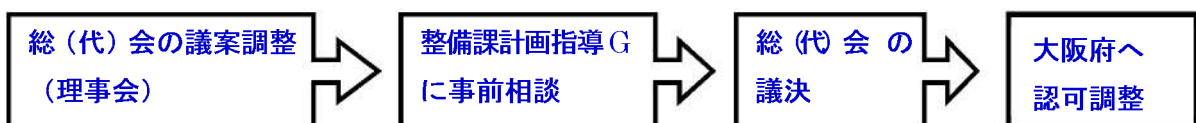
つきましては、今後予定されている総会・総代会において下記のとおり、知事の認可が必要な議案を提出する場合は、事前に農政室整備課に必要書類や手続きについて事前に相談してください。

記

【大阪府知事の認可が必要な議案】

- (1) 定款（役員選挙規程・選任規程）の変更【土地改良法第 30 条第 2 項】
- (2) 維持管理計画の変更【土地改良法第 48 条第 1 項】農業用排水施設又は農用地
- (3) 管理規程の設定・変更【土地改良法第 57 の 2 第 3 項】

【認可事務が必要な手続きの流れ】



【連絡先(相談先)】

大阪府環境農林水産部 農政室整備課 計画指導グループ 木内

TEL : 06-6210-9600 FAX : 06-6210-9599

土地改良相談

当連合会では、会員の方々が行う土地改良事業(施設の管理も含む)や土地改良区運営に関する相談をお受けいたしています。

窓口開設日：毎月 5 日・20 日（休日の場合はそれぞれ開設日以降の直近の平日）

尚、急を要するご相談の場合は、随時お受けいたしておりますので、お気軽にご相談下さい。

本会員代表者の就任・退任

泉南市男里土地改良区 [退任] 南 秀一 理事長 ⇒[就任] 南 憲次 理事長
(H27.8.21)

狭山池土地改良区 [退任] 辻尾 宏 理事長 ⇒[就任] 市埜 寛之 理事長
(H27.10.16)

理事長が就退任された場合は、当連合会にご連絡ください。

今後の行事予定

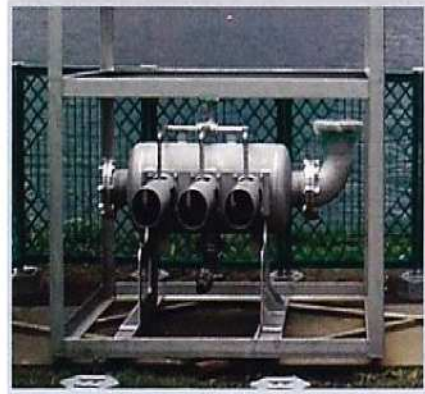
1 月	・新春互礼会 7 日 ・平成 27 年度 近畿農業農村整備構造改革推進研究会 21 日 ・「貝塚市農空間を活用した安全・安心・快適なまちづくりに関する調査報告会」 24 日
2 月	・平成 27 年度 農林水産関係団体人権問題研修会 1 日 ・第 4 回 多面的機能支払交付金活動発表会 8 日 ・第 3 回 監事会 12 日 ・第 3 回 理事会 23 日
3 月	・大阪府水土里情報システム運用協議会 23 日 a m ・第 58 回 大阪府土地改良事業団体連合会 通常総会 23 日 p m ・第 58 回 全国土地改良事業団体連合会 通常総会 25 日

耕和エンジニアリング(株)

- 各種水門設計施工・メンテナンス
- Y J 装置（水質浄化システム）大阪地区代理店
（Y J 装置：マイクロバブル発生装置）

- ・底層 DO 改善効果
- ・カビ臭抑制効果
- ・クロロフィル a の改善効果

〒599-8254
住所：堺市中区伏尾155番地
電話：072-270-7767
携帯：090-3356-3573
FAX：072-270-9559



水土里ネット大阪 事務所案内



地下鉄長堀鶴見緑地線・千日前線「西長堀」駅 ①番出口へ・・・東へ徒歩3分
車で来会の場合、駐車場の確認が必要です。事前に事務局へご連絡下さい。